



**安心して学べる環境を
いじめ防止会議**
1月19日(火)

小中学生の代表44人のほか、来賓や保護者など約50人参加し、いじめのない学校を目指す実践発表や話し合いが中央公民館で行われました。あいさつ運動をはじめとした、工夫ある取り組みについて情報を共有したほか、保護者同士でネットいじめに関する思いを話し合うなど絆を深め、いじめ防止に対する気運を高めました。

**新年の幸福を祈り
老神温泉節分祭・花火大会**
2月3日(水)

新しい年の無病息災と福善を願い行われるこの行事。高台となる神社の境内から豆や菓子などが投げ落とされると、御利益を得るため集まった人たちは、めいっばいに両腕を広げていました。

また、夜には多目的広場で冬の花火大会が行われ、澄んだ夜空を約250発の花火が彩りました。



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

**地域での交通安全活動が評価
沼田北小学校が交通安全優良校として表彰**
1月15日(金)

沼田北小学校が第56回交通安全国民運動中央大会で表彰を受けました。同大会は全日本交通安全協会と警察庁が主催。北小学校が学校全体で交通安全意識を高めるため積極的に活動してきたことや、周辺の理解を得ながら、地域ぐるみで交通事故防止へ取り組んできたことが評価されました。



**魅力ある高校として評価
ふるさとづくり大賞受賞(総務大臣賞)**
2月1日(月)

えだまメンチの開発に始まり、地域への普及や定着に平成23年から取り組んできた利根実業高校。関連諸活動が地域活性化に大きく貢献したとし、ふるさとづくり大賞を見事受賞しました。全国107の団体や個人の中、県内の受賞は同校のみ。学校史に残る受賞に、市長報告に来た生徒らは終始笑顔の様子でした。

**YOROZU
よろずとーく 105
TALK**

平成27年度緑白綬有功章受章
沼田市農業委員会会長
松井りんご園
松井 富雄さん
(下野知町)
Tomio Matsui

「この季節の剪定作業が大切で一番楽しいんだよ。盆栽に近いかな。秋にりんごがどう育つか想像しながら作業しますよ」笑顔で話す松井さん。就農当初は酪農を任されていたそうだが、りんご栽培に導かれた転機について語ってくれた。「上越新幹線開通工事の手伝いに行っていたね。そこで、全国から集まった作業員から、お土産にりんごが欲しいといわれて、父親の作るりんごを用意したらとても評判が良かった。栽培に本腰を入れたのはそれからだね」当初は長野などの品質差が大きかったと振り返る松井さん。試行錯誤を繰り返しながら栽培



横山市長に緑白綬有功章の受章報告をする松井さん

技術を高め、県品評会で最高賞を受賞。昨年、果樹振興への功績から県内で唯一となる緑白綬有功章を受章するなど、関東一のりんご産地をけん引してきた。「家族や困ったときに助けてくれた仲間、新品種を開発し、普及してくれた県の関係者、本当に良い人たちと巡り会えたことに感謝しています」松井さんは、「幻の黄色いりんご」ともいわれ、絶大な人気を誇る沼田生まれの「ぐんま名月」を開発当初から育ててきた生産者の一人でもある。「沼田の名月は、完熟するまで待つて収穫できるのが強み。でも、口コミで人気を広めてくれたのはお客さんだよ。ここは直売が主流の恵まれた地域。厳しい意見もあるけど、生の声が励みになり育ててもらってきた。これからも、栽培面積が減らないよう仲間と協力しながら、良い産地を目指していきたいね」

生の声が励みになり育ててもらってきた
これからも良い産地を目指していきたい



消防団員紹介 No.9

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

市消防団では多くの入団希望者を募集しています。
問い合わせ 市消防団本部(防災対策課消防係内)☎内線3363へ

沼田市消防団 ラッパ隊ラッパ長 木樽哲也さん

沼田市のラッパ隊は、第1分団から第7分団までのラッパ手、総勢49人で組織されています。

ラッパ隊の活動は、火災の際の吹奏のほか、点検や防火パレードなどの消防団行事における吹奏などを行っています。

また、昨年は県総合防災訓練が本市で開催されましたが、その式典においても吹奏を行いました。

普段は各分団毎に行うラッパ訓練のほか、ラッパ隊全体での訓練を実施し、技術の向上と隊員間の親睦を図っています。



昨年9月の群馬県総合防災訓練にて